

平成28年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	信州人のご当地魅力再発見事業
事業主体 (連絡先)	長野県旅館ホテル組合会青年部 担当 丸山貴義 080 - 3080 - 0027
事業区分	①地域協働の推進に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	2,281,568 円 (うち支援金: 1,711,000 円)

事業内容

信州に住む信州人に信州の大自然や豊かな食の魅力を再発見していただくことを目的とした事業である。

その目的(狙い)は「長野県内の域内経済の活性化の一助を担うこと」・「信州人に信州の魅力を再発見していただき、今後も信州で幸せに暮らしていただくこと」・「信州人を介して信州の魅力を外(都市部)に発信して信州への移住(地方創生)へのきっかけを作ること」である。そしてこのきっかけとして、松本城大手門にて、信州各地の観光地や温泉地などがブース出展の形で集結して盛大に、県内の魅力をPRしました。さらに、ここに旅館組合はもちろん各地の観光協会や長野県酒造組合・養蜂協会・農産物生産者の組合などとも共催し賑やかな事業を行うことが出来ました。

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

観光県である長野県の域内経済の活性化は旅館業界だけで成し得るものではなく、県内のそれぞれの地域で、農業生産者や酒蔵と観光事業者が協力をタッグを組む必要性があります。今回の事業では、もちろんその狙いに信州人へのPRがありますが、その前段として上記事業者がそれぞれの業界の枠を超えて協力関係を築き事業を共催することが出来るかどうか重要なポイントでした。しかし、この点を乗り越えて我々が一つになって事業を開催出来たことは非常に大きな成果のひとつです。

もちろん、当日事業(イベント会場)にお越しいただいたお客様からも、足湯につかりながら、それぞれの温泉の違いを感じていただいたり、ブースで各観光地を思い出していただいたり信州の地酒をその場で飲み比べていただいたり、次回旅行の際の大きな参考になったとの声を多く頂戴いたしました。



【各観光地ブースの様子】

【目標・ねらい】

- ①長野県内の域内経済の活性化
- ②信州人が信州の魅力を再発見
- ③業界の垣根を越えた連携
- ④信州の魅力を都市部に発信

※自己評価【 B 】

【理由】

1回~2回程度の開催では、本来成し得る目的を達成できるものではないが、業界の垣根を越えて開催が出来たこと。そして想像以上に盛況であったことに一定の評価が出来たものであると確信いたします。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

【事業効果】にも記載しました通り、今回の事業に際し、業界の枠を超えて協力することに我々は成功しました。実際に、これまで取引の無かった食材の仕入れやお酒の仕入れなどが、今回の事業をきっかけとして始まりました。これも域内経済の活性化の一端であると感じております。それ故にこの流れを止めることなく、より一層の活性化を目指してこのような事業（大小の規模を変えながら）を今後も継続して参ります。

そして、主題目であるお客様へ向けた「信州人のための信州の魅力再発見」もまた、始まったばかりで、今回はその一步にしか過ぎません。回数を重ねることで多くの信州人の目にもとまり、これまで知っているようで知らなかった信州の魅力をより広く、より深く浸透させることが出来るかと思っておりますので、今後も事業を積み重ねていくことで一層の効果が望めることかと思えます。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある

※別資料にて今回の事業報告書を制作いたしました。詳しくはご参照ください。



資料名：「信州人のご当地魅力再発見」事業報告書